

グループホームの技能実習生を紹介します!



ベトナムから、技能実習生のゴックさんとケーさんがグループホームにやって来て、5ヶ月が経ちました。
二人に、ここでのお仕事や生活のことを聞いてみました。まだまだ日本語は勉強中の彼女たちです。辞書を使いながら一生懸命書いた文章を、なるべくそのまま掲載します。ぜひお読みください。



タイ・ティン・ホン・ゴック

こんにちは、私はゴックと申します。現在、グループホームいつもえがおで、実習生をしています。

5ヶ月くらい前に日本へ来ました。初めて日本に来たら、実は言葉や文化などに困っています。しかし、担当の人や職員に手伝ってもらっています。皆さんののおかげで勉強することや仕事の仕方がだんだん良くなります。

ふるさとや家族と離れて暮らしているのが、家族愛が欠如されていますけど、今自宅のような職場環境で働いている。みんなが優しく親切だし特にみんなから愛情をもらっている。それで寂しくて心細いと感じません。これには本当に感謝しています。

ここでの三年間、多くの事を学び有意義な日々を送り、皆さんと多くの思い出を作りたいです。



私はチャン・ティ・トゥー・ケーと申します。ベトナムから来ました。今年で21歳です。

日本に来る前に私がすごい緊張して心配したが、グループホームいつもえがおで働いてから、皆さんはとてもやさしく親切と感じます。私にとっては家族のような皆さんです。この前までは何でも全然わからなかったです。それで私が仕事に早く慣れるために皆さんいつも熱心に教えてくれています。ここにはみなさんととても楽しくて優しいので、工作中ストレスを感じる事なく嬉しいです。皆さんののおかげで今仕事に慣れました。心から本当にありがとうございました。

グループホームで働きながら勉強していき、皆さんと一緒に働き、もっと一生懸命に関わりを覚えていくので、よろしくお願いします。



チャン・ティ・トゥー・ケー

職員より

グループホームに技能実習生としてきて5ヶ月、慣れない日本語で入居者様とのコミュニケーションを図ります。時には伝わらず聞き取れず、苦戦する事もありますが、それを乗り越えて一生懸命頑張っています。笑顔を決やさず精一杯取り組む姿に、私達職員が学ぶ事も沢山あります。

入居者様・職員と家族のように楽しく暮らせるよう、これからも温かく見守って行きます。



ゆめの里 入所のご長寿様

ゆめの里入所では、敬老の日に入所者様一人一人に手作りのプレゼントをお渡ししました。入所者様にメッセージを見ていただくと、「ありがとう」の言葉と素敵な笑顔がたくさん見ることができました。

入所者様の中で一番のご長寿様をご紹介させていただきます。今年の7月で茶寿(ちゃじゅ)を迎えられた三宅松江様。茶寿とは、数え年で108歳を祝う長寿祝いです。由来は「茶」の文字が「八十八」のうえに「十」が二つ並んでいるように見えることから「88+10+10=108」で108歳をお祝いする年の呼び名になったと言われています。

これからも、元気にお過ごしいただきたいです。私たち職員も、三宅様にあやかって、健康に過ごせるように頑張ります。



ゆめの里 通所の敬老会

今年も無事に、皆様が楽しみにされていた敬老会を開催することができました。コロナ禍において、行事の縮小を余儀なくされていましたが、待ちました!とばかりにゲームやスタッフの出し物で盛り上がりました。新人スタッフがマツケンサンバの踊りの中心となり、たくさんの拍手やアンコールをいただきました。

今年の最高齢は堀益恵様で105歳。利用者様の代表としてしっかりと挨拶をしてくださいました。「次に目指すは110歳!!」と盛り上がりました。

